受験番号		氏名	

令和８年度

大学院理工学研究科
博士前期課程入学試験（一般第１期）

建 築 学 専 攻 試 験 問 題

表　　紙

試験についての注意事項

（１）　解答時間は１２０分です．
（２）　試験開始の合図があるまで，この問題を開いてはいけません．
（３）　問題用紙は，表紙を除いて＿＿９＿＿枚です．
（４）　全ての用紙に受験番号，氏名を必ず記入しなさい．
（５）　[問題－１]，[問題－３]は全員が解答する共通の問題です．[問題－２]は３つの専門系列の中から１つの系を選択して解答する問題です．系をまたがって解答することはできませんので注意してください．
（６）　問題等に関する質問がある場合は，着席のまま手をあげなさい．

採点欄	
問題―１	
問題―２	
問題―３	
合計	/100

令和７年７月６日実施

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－１** ］ 次の表に掲げる建築学に関係の深い語句の中から５つを選んで下の解答欄に解答しなさい.

（25 点）

1	黄金比	6	人体の振動感覚の周波数特性
2	近代建築の五原則	7	プッシュプルウィンドウ方式
3	斜線制限（3 種類）	8	許容応力度
4	スプロール現象	9	エキスパンションジョイント
5	自然換気の種類	10	CFT 構造

＜解答欄＞　（カッコ内に選択した番号を記入し，続けて記述しなさい．選択・解答順は自由です.）

(　　)

(　　)

(　　)

(　　)

(　　)

採点欄 問題―１	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－２** ］ 3つの専門系列問題群の中から1つの系を選択して，それぞれ与えられた問題について解答しなさい．（注意：系をまたがった解答は採点しません）

(60点)

2－1　設計・計画系列の問題　以下に示す問題A，Bの全てについて解答しなさい．

A. 以下の3つの建築作品について時代背景，建築家名などを述べ，その建築的な特徴を記述しなさい．

1. ル・トロネ修道院

2. 第三インターナショナル記念塔

3. 東京文化会館

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

B. 以下の 7 つの語句について記述しなさい.

1. 最小限住宅

2. オープンプランスクール

3. 寝殿造

4. ポストモダン建築

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

5.『都市のイメージ』（ケヴィン・リンチ著，1960 年）

6. 都市施設（都市計画法第 4 条 5 号）

7. 延焼のおそれのある部分（建築基準法第 2 条 6 号）

採点欄 問題— 2	

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

2－2　環境・設備系列の問題　以下に示す問題A, B, Cの全てについて解答しなさい.

A. 次の表に掲げる語句の全てについて下の解答欄に記述しなさい.

1	壁体の熱橋
2	二重壁の透過損失の周波数特性
3	板状材料の吸音率の周波数特性
4	島日影
5	スポット空調方式
6	水道直結方式
7	粉末消火設備
8	ESCO事業

＜解答欄＞

(1)

(2)

(3)

(4)

＜ 次頁に続く ＞

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

＜解答欄（前頁から続く）＞

（ 5 ）

（ 6 ）

（ 7 ）

（ 8 ）

B. 一定の粉塵発生がある居室において，下記条件により換気設備を定常的に運転しているときの室内空気の粉塵濃度を求めなさい.

＜条件＞

- 外気取り入れ量：2,000 m^3/h
- 居室の排気量：2,000 m^3/h
- 室内の粉塵発生量：180 mg/h
- 外気の粉塵濃度：0.1 mg/m^3
- 外気取り込み側フィルターの粉塵捕集率：0.6
- 室内の粉塵は一様に分布するものとする
- ダクト系および室内からの空気の漏れは無いものとする

C. 残響時間を変化させる項目を全てあげ，それぞれの項目について，一般に残響時間を短くするためにはどのようにすれば良いか説明しなさい.

採点欄 問題―2	

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

2－3　構造・材料施工系列の問題　以下に示す問題A, Bの全てについて解答しなさい。

A. 次の表に掲げる語句の全てについて下の解答欄に記述しなさい。

1	高流動コンクリート
2	減衰定数
3	高力ボルト摩擦接合
4	プレストレストコンクリート

＜解答欄＞

(1)

(2)

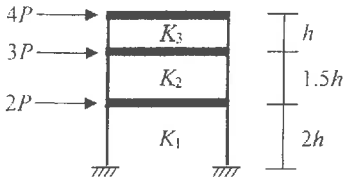
(3)

(4)

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

B. 図－1 に示すような水平力が作用する 3 層の構造物において，以下の設問に答えなさい．なお，各層の水平剛性を K_1, K_2, K_3 とする．ただし，梁は剛体であり，柱は等質等断面で伸縮はないものとする．



図－1

1. 各層の層せん断力 Q_1, Q_2, Q_3 を求めなさい．

3 層：Q_3 = _____

2 層：Q_2 = _____

1 層：Q_1 = _____

2. 各層の層間変位が等しいとき，各層の層間変位を δ として各層の水平剛性の比を求めなさい．また，この時の頂部変形角 R_{top} を求めなさい．

$K_3 : K_2 : K_1$ = ____ : ____ : ____

R_{top} = _____

3. 各層の層間変形角が等しいとき，各層の層間変形角を R として各層の水平剛性の比を求めなさい．

$K_3 : K_2 : K_1$ = ____ : ____ : ____

4. P = 100 kN のとき，この構造物が 1 層崩壊に至った．この時，柱の全塑性モーメント M_p [kNm]を求めなさい．ただし，h = 3 m とする．

M_p = _____ [kNm]

採点欄 問題― 2	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－３** ］ 現在研究中のテーマまたはこれから大学院で研究したいテーマについて，目的と意義を説明し，そのテーマと建築学との関わりについて述べなさい．　（15 点）

採点欄 問題―３	

令和８年度
日本大学大学院 理工学研究科
解答

種別	博士前期課程入学試験（一般第１期）
専攻	建築学専攻

[問題－１]

1

視覚的にもっとも美しいと感じるとされる比率／1：1.618／a：b＝b：(a＋b)／1：1＋√5／2／モデュロール（ル・コルビュジエ）／パルテノン神殿（フェイディアス）／黄金矩形，等の関連項目について説明されていること．

2

ル・コルビュジエ／ピロティ・屋上庭園・自由な平面・水平連続窓・自由なファサード／構造形式の転換（組積造→骨組構造）／「新しい建築の５つの要点」（1926年）／建築的プロムナード／ル・コルビュジエの主要作品について，等の関連項目について説明されていること．

3

道路斜線制限／隣地斜線制限／北側斜線制度／高さ制限／隣地境界線／道路境界線，等の関連項目について説明されていること．

4

郊外部への市街地の拡大／無秩序・無計画／未整備な都市施設／通勤・通学の遠隔化（長距離移動），等の関連項目について説明されていること．

5

「風を駆動力とした換気（風圧力）」，「温度差を駆動力とした換気（温度差（重力差））」の２種について説明されていること．

6

人体が感じやすい周波数について，「鉛直方向は4～8Hz」，「水平方向は2Hz以下」であることが説明されていること．

7

窓ガラスとブラインドの間に「窓下部から室空気を吹出し」，その空気を「窓上部からの排気」することにより，「窓付近の温度環境を改善する方式」であることが説明されていること．

8

「材料の基準強度」，「安全率」，「材料の種類や使用条件」を用いて説明されていること．

9
「複雑な平面」,「長大な建物」,「分割」,「地震発生時の動き方」を用いて説明されていること.

10
「鋼管」,「コンクリートを充填」,「相互拘束効果」,「適用事例」を用いて説明されていること.

[問題－２] 専門系別問題
２－１ 設計・計画系列の問題
A
1
中世ロマネスク様式のシトー会修道院（1160 ～1200 年頃に建設）／南仏プロヴァンス地方ル・トロネ／中庭を中心とした機能的・合理的な平面構成／光の表現／交差リブ・ヴォールト（尖頭アーチ）／聖ベネディクトゥスの戒律／ル・コルビュジェへの影響／『粗い石』（フェルナン・プイヨン著，1964 年），等の関連項目についての概説・論述.

2
ウラジーミル・タトリン／ロシア構成主義／巨大な鉄骨斜柱（地軸の傾きと同一の角度）／螺旋状の鉄柱／最高高さ 400 m／議会棟（立方体）・事務棟（円錐）・出版社（円柱）がそれぞれ自転するキネティック・アーキテクチュア／タトリンの他の主要作品，等の関連項目についての概説・論述.

3
前川國男／戦後日本のモダニズム建築／ブルータリズム（量塊的表現）／ホワイエ・ロビーの回遊的な空間構成／周辺環境（上野の森）との融和／エスプラナード／国立西洋美術館との関係／前川國男の他の主要作品，等の関連項目についての概説・論述.

B
1
生活に必要な最小限の要素の抽出／合理性・機能性・近代性の追求／戦後復興期における延床面積制限（10・12・15 坪）／「立体最小限住宅」（池辺陽）・「吹き抜けのある家」（増沢洵）・「SH-1」（広瀬鎌二）・「斉藤助教授の家」（清家清）／第 2 回 CIAM（フランクフルト），等の関連項目についての概説・論述.

2
教室と廊下また教室間の壁を取り払った開放的な平面形式／画一的なマス教育からの転換／生徒の個性に応じた自主的学習／学級間の教育連携／騒音・防犯などに問題点／加藤学園初等学校（静岡県，槇文彦設計）・緒川小学校（愛知県），等の関連項目についての概説・論述.

3
平安時代の貴族住宅の様式／寝殿・渡殿・対屋・池・庭園・中門廊・釣殿／板敷き・畳・御簾・几帳／室町～桃山時代における書院造への変容／近代以降の和風住宅の源流／東三条殿，等の関連項目についての概説・論述.

4
1970～80 年代における近代主義批判の潮流／装飾性・折衷性・物語性・意味性・象徴性等の造形表現／歴史的様式の復権／ポートランド市庁舎（M.グレイブス）・AT&T ビル（P.ジョンソン）・つくばセンタービル（磯崎新）／『ポスト・モダニズムの建築言語』（Ch.ジェンクス）・『建築の多様性と対立性』『ラスベガス』（R.ヴェンチューリ）・『建築の解体』（磯崎新）／ハイテク建築／ディコンストラクティヴィズム（脱構築主義），等の関連項目についての概説・論述.

5
住民共通のパブリックイメージ（Public Image）／イメージアビリティ（Image ability）／パス（path・道路）・エッジ（edge・縁）・ディストリクト（district・地区）・ノード（node・接合点）・ランドマーク（landmark・目印）／科学的な分析にもとづく都市デザイン，等の関連項目についての概説・論述.

6
都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項各号に掲げる施設／交通施設／公共空地／供給・処理施設／教育文化施設／医療・社会福祉施設，等の関連項目についての概説・論述.

7
隣地境界線，道路中心線又は同一敷地内の 2 以上の建築物（延べ面積の合計が 500 m^2 以内の建築物は，一の建築物とみなす）／相互の外壁間の中心線から，1 階にあつては 3 m 以下，2 階以上にあつては 5 m 以下の距離にある建築物の部分，等の関連項目についての概説・論述.

2－2 環境・設備系列の問題

A
1
・断熱性の良い材料を横断して熱伝導率の大きい材料があると，この部分に熱が集中して流れる場所

2
・低音域の共鳴透過周波数で低下する
・共鳴透過周波数の$\sqrt{2}$倍より高い周波数では，質量則以上に透過損失が大きくなる
・コインシデンス効果で低下する

3
・低音域の共鳴周波数付近に吸収の山をもち，中高音域の吸音率は小さい

4
・複数の建物の日影になることによって，日影時間の大きい部分ができること
・東西に建物が並んだ場合にできる
・建物から離れた所にできる

5
・特定の機器や場所に直接風を送り，一定の範囲にのみ温度と湿度をコントロールすることが可能

・局所的な温度と湿度の管理に優れている
・空間全体を温度管理する空調と比べてエネルギーの消費を抑えられるうえに，冷暖房の対象を簡単に変更できる

6
・配水管の水圧を利用して受水槽を介さずに住戸などに直接給水する方式
・貯水槽の点検･清掃が不要
・貯水槽のスペースが不要なため，敷地を有効活用できる
・配水管の圧力を利用するため，エネルギーを有効に活用できる
・事故や災害時等に，貯留機能がないため断水することがある

7
・延焼スピードの早い油火災や，変圧器など高圧電気設備の火災に適している
・粉末消火剤は変質しないため，長時間にわたって交換不要
・水噴霧消火設備や泡消火設備とは異なり，極寒地でも使用できる
・ガスの圧力で粉末消火薬剤を放射する消化設備で，駐車場などに適しており，定期点検が義務付けられている

8
・省エネルギー効果が見込まれるシステムを提案し，設備設置工事・維持・管理まで含めた包括的なサービスを提供する事業

B
0.13m g/m^3

C
「室容積を小さくする」,「室表面積を大きくする」,「吸音率を大きくする」の3つが説明されていること

2－3 構造・材料施工系列の問題

A
1
「高流動性」,「材料分離抵抗性」,「自己充填性」を用いて説明されていること.

2
「減衰係数との違い」,「減衰定数の大きさと建物の揺れの関係」,「主な構造の減衰定数の値」を用いて説明されていること.

3
「応力伝達の方法」,「摩擦抵抗の消失と接合材間のずれ」,「疲労強度」を用いて説明されていること.

4
「緊張材」,「圧縮力」,「ひび割れ」,「プレストレスの与え方」を用いて説明されていること.

B
1 $Q_3 = 4P$，$Q_2 = 7P$，$Q_1 = 9P$

2　$K_3 : K_2 : K_1 = 4 : 7 : 9$,　$R_{top} = 2\delta / 3h$

3　$K_3 : K_2 : K_1 = 24 : 28 : 27$

4　$M_p = 1350$ kNm

[問題－３]

・卒業研究・卒業論文で取り組んだ（取り組んでいる）テーマについて主旨と成果（期待される成果）が簡潔・明瞭に説明されているかを評価

・大学院で取り組もうと考えている研究テーマについて

- 背景
- 意義・目的
- 研究方法

などが論理立てて説明されているかを評価

令和８年度
日本大学大学院 理工学研究科
出題意図

種別	博士前期課程入学試験（一般第１期）
専攻	建築学専攻

[問題－１]
建築学の「計画・法規・歴史」,「構造・材料施工」,「環境・設備」に関する基礎的な専門用語の知識を評価する.

[問題－２]
２－１ 設計・計画系列の問題
A
著名な建築作品の時代背景・建築家名・建築的特徴等についての概説・論述を求め,当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
建築計画・建築史・都市計画・建築法規の各分野における専門用語についての概説・論述を求め,当該分野における理解度を評価する.

２－２ 環境・設備系列の問題
A
環境・設備系列の専門用語に対する理解度を測り,当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
「換気」に関する基礎的な計算知識を評価する.

C
残響時間に室容積,室表面積,吸音率の要素がどのように関わるか,その理解度を評価する.

２－３ 構造・材料施工系列の問題
A
構造・材料施工系列の専門用語に対する理解度を測り,当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
構造計算に関する基礎的な知識と計算能力を評価する.本問では,層せん断力,層間変位および層の水平剛性の関係を理解し,それらを正しく算定できるかを評価する.また,保有水平耐力の計算法の理解度を評価する.

[問題－３]
卒業研究・卒業論文などで取り組んだ（取り組んでいる）テーマについて,その主旨

と成果を明瞭に述べ，さらに大学院で取り組もうと考えている研究テーマについて，背景，意義・目的，研究方法などを論理立てて述べられるかを評価する．

受験番号		氏名	

令和８年度

大学院理工学研究科
博士前期課程入学試験（一般第２期）

建 築 学 専 攻 試 験 問 題

表　　紙

試験についての注意事項

（１）　解答時間は１２０分です.
（２）　試験開始の合図があるまで，この問題を開いてはいけません.
（３）　問題用紙は，表紙を除いて　9　枚です.
（４）　全ての用紙に受験番号，氏名を必ず記入しなさい.
（５）　[問題－１]，[問題－３]は全員が解答する共通の問題です.［問題－２］は３つの専門系列の中から１つの系を選択して解答する問題です.系をまたがって解答することはできませんので注意してください.
（６）　問題等に関する質問がある場合は，着席のまま手をあげなさい.

採点欄	
問題―１	
問題―２	
問題―３	
合計	/100

令和７年９月７日実施

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－１** ］ 次の表に掲げる建築学に関係の深い語句の中から５つを選んで下の解答欄に説明しなさい．

(25 点)

1	食寝分離	6	カーボンニュートラル
2	デ・ステイル	7	法定耐用年数
3	建築物（建築基準法第２条１号）	8	縁応力度
4	ブラジリア	9	スリーブ（貫通孔）
5	不快指数	10	コンクリートのかぶり厚さ

＜解答欄＞　（カッコ内に選択した番号を記入し，続けて記述しなさい．選択・解答順は自由です．）

(　　)

(　　)

(　　)

(　　)

(　　)

採点欄 問題―１	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－２** ］ 3つの専門系列問題群の中から1つの系を選択して，それぞれ与えられた問題について解答しなさい．（注意：系をまたがった解答は採点しません）

（60点）

2－1　設計・計画系列の問題　以下に示す問題A，Bの全てについて解答しなさい．

A. 以下の3つの建築作品について時代背景，建築家名などを述べ，その建築的な特徴を説明しなさい．

1. パリ・オペラ座（ガルニエ宮）

2. ツェッペリン広場

3. 名護市庁舎

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

B. 以下の 7 つの語句について説明しなさい.

1. アダプタブルステージ

2. グループホーム

3. 帝冠様式

4. 装飾は罪悪なり

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

5. 住区基幹公園（3 種）

6. 景観法

7. 防火区画（4 種類）

採点欄 問題―2	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

2－2　環境・設備系列の問題　以下に示す問題A, B, Cの全てについて解答しなさい.

A. 次の表に掲げる語句の全てについて下の解答欄に説明しなさい.

1	室間クロストーク
2	白色雑音
3	空気齢
4	フリッカー
5	エアフローウィンドウ
6	クロスコネクション
7	加圧防煙システム
8	アクティブソーラー

＜解答欄＞

(1)

(2)

(3)

(4)

＜ 次頁に続く ＞

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

＜解答欄（前頁から続く）＞

(5)

(6)

(7)

(8)

B. 機械 1 台が動いているときの工場室内の音が 73 dB で，その機械を止めたときの工場室内の音が 66 dB であるとき，機械 1 台のみの音は何 dB になるか求めなさい.

C. 建築物におけるライフサイクルアセスメントについて説明しなさい.

採点欄 問題―２	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

2－3　構造・材料施工系列の問題　以下に示す問題A, Bの全てについて解答しなさい。

A. 次の表に掲げる語句の全てについて下の解答欄に説明しなさい。

1	地震層せん断力係数
2	間隙水圧
3	すみ肉溶接
4	工学的基盤

＜解答欄＞

(1)

(2)

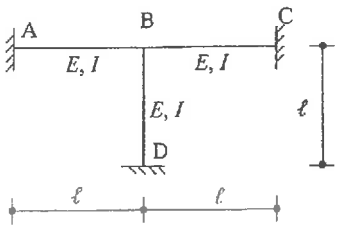
(3)

(4)

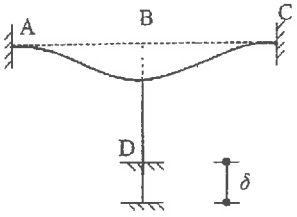
日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

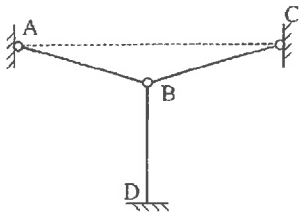
B. 図－1 に示すようなラーメン架構について，以下の設問に答えなさい．なお，梁および柱は，等質等断面とし，弾性係数は E，断面二次モーメントは I とする．また，材は伸縮しないものとし，B 節点は剛接合とする．



図—1

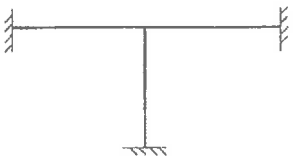


図—2



図—3

1. 図－2 に示すように，対称軸上の柱脚 D がδだけ沈下した．この時，各節点に生じる曲げモーメントの値（絶対値）を，δを用いて求めなさい．また，架構の曲げモーメント図を描きなさい．



M 図

M_{AB} =	M_{BC} =	M_{BD} =
M_{BA} =	M_{CB} =	M_{DB} =

2. 上記 1 において，柱 BD に発生する軸方向力 P を求めなさい．なお，引張力は「+」，圧縮力は「−」とする．

P =

3. 沈下がさらに進行した後，図－3 のような塑性ヒンジ（図中，○印）を生じる崩壊メカニズムを示した．この時，柱 BD に発生する軸方向力N_uの大きさを求めなさい．なお，梁および柱の全塑性モーメントはM_pとする．また，引張力は「+」，圧縮力は「−」とする．

N_u =

採点欄	
問題— 2	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－３** ］ 現在研究中のテーマまたはこれから大学院で研究したいテーマについて，目的と意義を説明し，そのテーマと建築学との関わりについて述べなさい．（15 点）

採点欄 問題―３	

令和８年度
日本大学大学院 理工学研究科
解答

種別	博士前期課程入学試験（一般第２期）
専攻	建築学専攻

[問題－１]

1

住宅の平面計画／西山卯三／住まい方調査／戦後復興期における住宅改善／就寝分離／家事労働の軽減／住宅公団／51C 型平面／nLDK，等の関連項目についての概説・論述.

2

オランダにおける造形改革運動／テオ・ファン・ドースブルフ／ピエト・モンドリアン／新造形主義（ネオ・プラティシズム）／抽象絵画の成立／シュレーダー邸（ヘリット・リートフェルト）／芸術家の家（パリ・モデル）／バウハウスへの影響／国際構成主義の確立（1923 年），等の関連項目についての概説・論述.

3

屋根及び柱若しくは壁を有するもの（これに類する構造のものを含む）／附属する門・塀／観覧のための工作物／地下若しくは高架の工作物内に設ける事務所・店舗・興行場・倉庫その他これらに類する施設／建築設備を含む，等の関連項目についての概説・論述.

4

ブラジルの首都／ブラジル共和国憲法（1889 年）による規定／設計競技（1957 年）／ルシオ・コスタ／交差する 2 本の都市軸／立体交差した幹線交通網／住宅街区（高層アパート）：翼部／行政・業務・娯楽：胴体部／世界遺産の認定（1987 年），等の関連項目についての概説・論述.

5

「乾球温度と湿球温度で表せる」，「いまでは屋外でも使用されている」，「不快指数が 80 になると，全員が不快となる」，「夏季の蒸し暑さの程度を表わす指標」などが説明されていること.

6

二酸化炭素など温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ，その排出量を「実質ゼロ」に抑えるという概念であることが説明されること.

7

税法上あるいは減価償却などを目的として定められた年数であることが説明されるこ

と.

8
「部材断面の端部」,「断面力との関係」,「中立軸との位置と応力の大きさの関係」について説明されること.

9
「構造体に設ける孔」,「構造性能への影響」,「設置条件」,「補強」について説明されること

10
「コンクリート表面からの距離」,「鉄筋」,「中性化」,「鉄筋のさび」について説明されること.

[問題－２] 専門系別問題
２－１ 設計・計画系列の問題
A
1
シャルル・ガルニエ／ネオ・バロック様式／鉄骨材の導入による当時最大の観客収容規模（2 千席）／ジョルジュ・オースマンによるパリ改造計画（オペラ広場）／ジャイアント・オーダー（コリント式）／メダイヨン・フェストゥーン（花綱模様）による壁面装飾／「ハーモニー」や「ポエジー」の彫像／バロック階段／大休憩室，等の関連項目についての概説・論述.

2
ナチス・ドイツの党大会会場／アルベルト・シュペーア／古典主義様式への復古／ゼウスの大祭壇（ペルガモン博物館（ベルリン）に一部復元）／「光の大聖堂」（108 本のサーチライト）／記録映画「信念の勝利」「意志の勝利」（レニ・リーフェンシュタール）／ナチス・ドイツのメディア戦略／シュペーアの他の作品（「ゲルマニア（ベルリン都市改造計画)」「パリ万博ドイツ館（1937 年)」「総統官邸（1939 年)」など)，等の関連項目についての概説・論述.

3
象設計集団（大竹康市，樋口裕康，富田玲子，重村力，他）＋アトリエ・モビル（丸山欣也）／1970 年代の地域主義を代表する作品／沖縄の風土への建築的対応（アサギ・ルーバーによる遮光，「風の道」による自然換気，地場産のブロックの使用，など）／吉阪隆正／象設計集団の他の作品（今帰仁村中央公民館，宮代町立笠原小学校，コミュニティセンター進修館，など)，等の関連項目についての概説・論述.

B
1
可動式舞台／演目に応じて舞台と客席の関係が変化／エンドステージ・センターステージ・スラストステージ・アリーナステージ等への対応が可能，等の関連項目についての概説・論述.

2
集団生活型介護／一般の住宅内での生活困難者（病気・障害等）の生活（共同）／介護

スタッフによる支援／障害者（精神障害，知的障害，認知症）を対象とした「脱施設」の運動（障害者解放運動）／ノーマライゼーション／介護保険法（2000 年）／ゴールドプラン（厚生労働省，2000～04 年）／介護スタッフの労働環境，虐待・防火・安全対策などの課題，等の関連項目についての概説・論述.

3
戦前期日本の折衷様式／特異な和洋混在の手法（ルネサンス様式などの外観に瓦屋根）／ナショナリズムの高揚／日本趣味・東洋趣味／代表的な作品に神奈川県庁舎（小尾嘉郎，1928 年），名古屋市庁舎（平林金吾，1933 年），軍人会館（小野武雄，1933 年），東京帝室博物館（渡辺仁，1937 年）／「負ければ賊軍」（前川國男，『国際建築』1931 年 6 月号），等の関連項目についての概説・論述.

4
アドルフ・ロース／近代建築の非装飾的性質／「芸術は必要によってのみ支配される」（オットー・ヴァーグナー）／ウィーン分離派／世紀転換期のウィーン／ロースの代表的作品に，シュタイナー邸（1910 年），ロースハウス（1911 年），ミュラー邸（1930 年），等の関連項目についての概説・論述.

5
街区公園：街区に居住する者が利用する（標準規模 0.25ha)／近隣公園：近隣に居住する者が利用する（標準規模 2.0ha）／地区公園：徒歩圏内に居住する者が利用する（標準規模 4.0ha)，等の関連項目についての概説・論述.

6
都市・農山漁村等における良好な景観形成とその促進／景観行政団体としての地方公共団体による景観計画の策定，景観地区の行為規制／美しく風格のある国土の形成／潤いのある豊かな生活環境の創造／個性的で活力ある地域社会の実現，等の関連項目についての概説・論述.

7
面積区画：建物の面積によって，床面積を何㎡以内毎に区画するかを定めたもの（建築基準法施行令第 112 条第 1 項～第 6 項に規定）／高層階区画：建物の 11 階以上の部分に対して適用される区画（建築基準法施行令第 112 条第 7 項～10 項に規定）／竪穴区画：竪穴以外の区域と区画し炎や煙が別の階へ回るのを防ぐ（建築基準法施行令第 112 条第 11 項～15 項に規定）／異種用途区画：ひとつの建物内の異なる用途（管理者・利用者が異なる場合）ごとの区画（建築基準法施行令第 112 条第 18 項に規定），等の関連項目についての概説・論述.

2－2 環境・設備系列の問題

A
1
・会話がダクトを通じて別の室に筒抜けになる現象をいう.

2
・スペクトルレベルが全ての周波数で等しい雑音をいう.

3

・外部から建物に入った空気が室内で経過した平均時間.
・空気齢が小さいほど新鮮な空気となる.

4
・細かい明暗変化をいう.
・光の点滅によって不快感を引き起こす.
・人間は 10Hz 程度に対して最も反応し，60～70Hz で感じなくなる.

5
・ブラインドを内蔵した二重のガラス間に室内空気を通して熱負荷を低減する方式.
・室内温熱環境の改善，コールドドラフトの防止効果が期待される.

6
・上水の給水・給湯系統とその他の系統が，配管・装置により直接接続されること.
・汚染防止のため，水道法によって禁じられている.

7
火災時に発生する室内の煙が避難通路に出ないように火災ゾーンを排煙ファンなどで負圧にし，避難する廊下には加圧ファンで新鮮な空気を入れ正圧にすることで，避難方向と逆方向の煙のながれをつくり，避難経路への煙の侵入を防ぐシステム.

8
・機械や設備を使って太陽のエネルギーを積極的に利用する仕組みのこと.
・太陽光発電（ソーラーパネル），太陽熱温水器，蓄電池・蓄熱システム　など.

B
72 dB

C
建築物を構成する各部材・設備の製造・施工・使用・解体に至るまでの建築物のライフサイクル全体において発生する CO_2 発生量を算定・評価するもの.

２－３ 構造・材料施工系列の問題

A
1
「建物の階層」，「地震力」，「算出方法」，「使用用途」について説明されること.

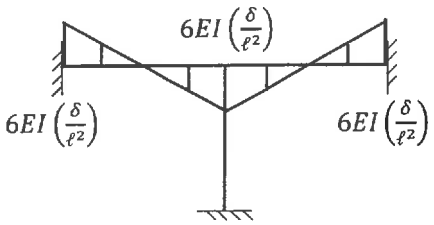
2
「土中」，「間隙・空洞」，「圧力」，「圧密」，「強度」を用いて説明されること.

3
「溶接金属」，「脚長」，「のど厚」，「せん断力」を用いて説明されること.

4
「耐震設計」，「地震動」，「基準」，「地盤」，「S 波速度が 300～700m/s 程度以上」を用いて説明されること.

B

1　$M_{AB} = 6EI\left(\frac{\delta}{\ell^2}\right)$,　$M_{BA} = 6EI\left(\frac{\delta}{\ell^2}\right)$,　$M_{BC} = 6EI\left(\frac{\delta}{\ell^2}\right)$,　$M_{CB} = 6EI\left(\frac{\delta}{\ell^2}\right)$,　$M_{BD} = 0$,　$M_{DB} = 0$



M図

2　$\mathrm{P} = 24\mathrm{EI}\frac{\delta}{\ell^3}$

3　$\mathrm{N}_u = \frac{4M_P}{\ell}$

[問題－３]

・卒業研究・卒業論文で取り組んだ（取り組んでいる）テーマについて主旨と成果（期待される成果）が簡潔・明瞭に説明されているかを評価

・大学院で取り組もうと考えている研究テーマについて

- ■ 背景
- ■ 意義・目的
- ■ 研究方法

などが論理立てて説明されているかを評価

令和８年度
日本大学大学院 理工学研究科
出題意図

種別	博士前期課程入学試験（一般第２期）
専攻	建築学専攻

[問題－１]
建築学の「計画・法規・歴史」,「構造・材料施工」,「環境・設備」に関する基礎的な専門用語の知識を評価する.

[問題－２]
２－１ 設計・計画系列の問題
A
著名な建築作品の時代背景・建築家名・建築的特徴等についての概説・論述を求め，当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
建築計画・建築史・都市計画・建築法規の各分野における専門用語についての概説・論述を求め，当該分野における理解度を評価する.

２－２ 環境・設備系列の問題
A
環境・設備系列の専門用語に対する理解度を測り，当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
音の分解に関する基礎知識を評価する.

C
建築物のライフサイクル全体において発生する CO_2 排出量を算定・評価することの重要性への理解度を評価する.

２－３ 構造・材料施工系列の問題
A
構造・材料施工系列の専門用語に対する理解度を測り，当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
構造計算に関する基礎的な知識と計算能力を評価する．本問では，不静定構造の原理と計算法を理解し，それらを正しく算定できるかを評価する．また，骨組みの塑性崩壊の計算法の理解度を評価する.

[問題－３]
卒業研究・卒業論文などで取り組んだ（取り組んでいる）テーマについて，その主旨

と成果を明瞭に述べ，さらに大学院で取り組もうと考えている研究テーマについて，背景，意義・目的，研究方法などを論理立てて述べられるかを評価する．

受験番号		氏名	

令和８年度

大学院理工学研究科
博士前期課程入学試験（一般第３期）

建 築 学 専 攻 試 験 問 題

表　　紙

試験についての注意事項

（１）　解答時間は１２０分です．
（２）　試験開始の合図があるまで，この問題を開いてはいけません．
（３）　問題用紙は，表紙を除いて　９　枚です．
（４）　全ての用紙に受験番号，氏名を必ず記入しなさい．
（５）　[問題－１]，[問題－３]は全員が解答する共通の問題です．[問題－２]は３つの専門系列の中から１つの系を選択して解答する問題です．系をまたがって解答することはできませんので注意してください．
（６）　問題等に関する質問がある場合は，着席のまま手をあげなさい．

採点欄	
問題―１	
問題―２	
問題―３	
合計	/100

令和８年３月７日実施

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－１** ］ 次の表に掲げる建築学に関係の深い語句の中から５つを選んで下の解答欄に解答しなさい．

(25 点)

1	ノーマライゼーション	6	絶対湿度と相対湿度
2	伝統論争	7	地域冷暖房に期待される効果
3	ハートビル法	8	時刻歴応答解析
4	クルドサック（cul-de-sac）	9	メガストラクチャー
5	色彩の面積効果と明度・彩度	10	空気膜構造

＜解答欄＞　（カッコ内に選択した番号を記入し，続けて記述しなさい．選択・解答順は自由です．）

(　　)

(　　)

(　　)

(　　)

(　　)

採点欄 問題―１	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－２** ］ ３つの専門系列問題群の中から１つの系を選択して，系の番号を○で囲み，それぞれ与えられた問題について解答しなさい．（注意：系をまたがった解答は採点しません）

（60 点）

2－1　設計・計画系列の問題　以下に示す問題 A，B の全てについて解答しなさい．

A. 以下の３つの建築作品について時代背景，建築家名などを述べ，その建築的な特徴を記述しなさい．

1. ノートルダム大聖堂（パリ）

2. ユニテ・ダビタシオン（マルセイユ）

3. 東京中央郵便局

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

B. 以下の7つの語句について説明しなさい.

1. 特別教室型

2. PFI（Private Finance Initiative）

3. 光浄院客殿

4. アール・デコ

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

5. 地区計画（都市計画法第 12 条の 5）

6. 市街地建築物法

7. 避難階段（建築基準法施行令 122 条）

採点欄 問題―2	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

2－2　環境・設備系列の問題　以下に示す問題 A, B, C の全てについて解答しなさい.

A. 次の表に掲げる語句の全てについて下の解答欄に説明しなさい.

1	熱線吸収ガラス
2	線音源の距離減衰
3	有効温度 ET
4	多孔質材料の吸音率の周波数特性
5	パーソナル空調システムが備えるべき条件
6	直接暖房方式
7	グリース阻集器
8	屋内消火栓設備

<解答欄>

(1)

(2)

(3)

(4)

次頁に続く

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

解答欄（前頁から続く）

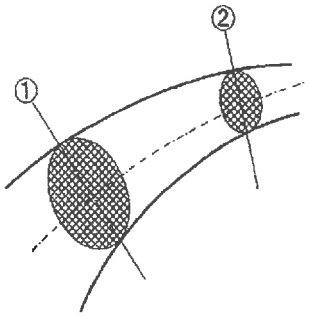
（ 5 ）

（ 6 ）

（ 7 ）

（ 8 ）

B. 図において，①の断面積を 800 cm^2，流速を 2 m/s，②の断面積を 200 cm^2 としたとき，②における流量と流速を求めなさい。



C. 等価騒音レベルの考え方について説明しなさい。

採点欄 問題―2	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

2－3　構造・材料施工系列の問題　以下に示す問題 A, B の全てについて解答しなさい.

A. 次の表に掲げる語句の全てについて下の解答欄に説明しなさい.

1	標準貫入試験
2	減水剤
3	スカラップ
4	スラブの面内剛性

＜解答欄＞

(1)

(2)

(3)

(4)

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

B. 図に示すラーメン架構①および②において，節点 B 及び節点 F に水平荷重 P が作用したときの，曲げモーメントによる変形について以下の値を求めなさい．

(1) 節点 B の水平変位 δ_B

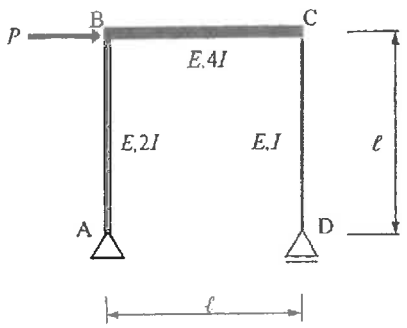
(2) 節点 B の回転角 θ_B

(3) 節点 C の回転角 θ_C

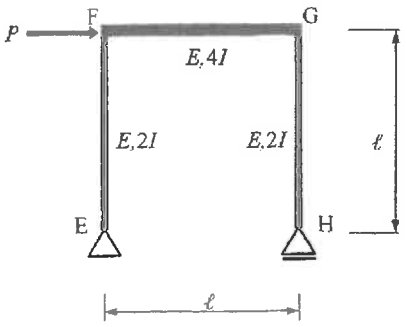
(4) 節点 D の水平変位 δ_D

(5) 節点 B と節点 F の水平変位の比 $\delta_B : \delta_F$

ただし，すべての部材の自重は無視し，またせん断力変形及び軸変形による影響も無視するものとする．各部材のヤング係数（E）及び断面二次モーメント（I）は，図中に示す値を用いること．



ラーメン架構①



ラーメン架構②

(1) $\delta_B =$ _____

(2) $\theta_B =$ _____

(3) $\theta_C =$ _____

(4) $\delta_D =$ _____

(5) $\delta_B : \delta_F =$ _____ : _____

採点欄 問題— 2	

日本大学大学院理工学研究科

建　築　学　専攻志望	受験番号		氏名	

［ **問題－３** ］ 現在研究中のテーマまたはこれから大学院で研究したいテーマについて，目的と意義を説明し，そのテーマと建築学との関わりについて述べなさい．（15 点）

採点欄 問題－３	

令和８年度
日本大学大学院 理工学研究科
解答

種別	博士前期課程入学試験（一般第３期）
専攻	建築学専攻

[問題－１]

1
社会福祉／障害者支援／健常者との同等の生活／バリアフリー化／ニルス・エリク・バンク＝ミケルセン（デンマーク）／ベングト・ニリエ（スウェーデン）／ユニバーサルデザイン／アクセシビリティ／ユーザビリティ／メインストリーム（主流化），等の関連項目について説明されていること．

2
戦後日本における建築論の展開／日本の伝統とモダニズムの融合／「近代建築をいかに理解すべきや－伝統の創造のために」（『新建築』1955 年１月号）／「美しきもののみ機能的である」（丹下健三）／「縄文的なるもの」（白井晟一）／川添登／岡本太郎／篠原一男・池辺陽・吉村順三／非西欧圏におけるモダニズムの様態，等の関連項目について説明されていること．

3
「高齢者，障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（2006 年 12 月施行）／不特定多数の人々が利用する建築物（デパート・劇場・ホテルなど）における増改築の促進／段差のない出入り口・自動ドア・幅の広い廊下・緩やかな勾配の階段・手すり・誰でも使えるトイレ・駐車場等／２つの基準（基礎基準・誘導基準），等の関連項目について説明されていること．

4
住宅地計画において敷地割りの際に袋小路状に設ける道路／自動車は通り抜けできないがＵターン（折り返し）は可能／周辺の区画に住む居住者が使用／通過交通の防止，等の関連項目について説明されていること．

5
色彩の面積が大きいほど，「明度」および「彩度」が高いことが説明されていること．

6
絶対湿度は乾燥空気 1kg 中の水蒸気量，相対湿度は「湿り空気中の水蒸気分圧」/「その温度の飽和水蒸気分圧」×100 であることが説明されていること．

7
地域冷暖房の環境効果（大気汚染の拡大防止など），防災効果（都市防災性の向上など）や経済効果（熱源集中によるコスト削減など）などが説明されていること．

8
地震時の構造物の挙動を，地震動加速度の時系列データを入力して逐次的に解析する方法．非線形特性や減衰を考慮した動的応答を求めることができ，耐震性能評価に最も精密な解析法の一つであることが説明されていること．

9
巨大建築や超高層建築に見られる，主要構造体を大断面のフレームやトラスで構成し，その内部に居住・業務空間を配置する構造形式．外骨格フレームにより長大スパンや超高層を実現することが説明されていること．

10
膜材料を空気圧で張力状態に保つことで形状と剛性を得る構造．自重が極めて軽く，大空間を支柱なしで覆える．内部圧力を一定に維持するため，送風設備や非常時の減圧対策が必要であることが説明されていること．

[問題－２]　専門系別問題
２－１　設計・計画系列の問題
A
1
ゴシック様式／尖頭アーチ／フライングバットレス（飛梁）／リブヴォールト／ステンドグラス／ピナクル（小尖塔）／「光」（「神は光なり」（聖書））の表現／三層構成（大アーケード・トリフォリウム・クリアストーリー（高窓））による身廊の壁面構成／「森」の造形化としてのゴシック建築、等の関連項目についての概説・論述．

2
ル・コルビュジエ設計による集合住宅（1957 年）／共用施設の付設（店舗・郵便局・宿泊施設（中間階）、保育所・体育館（屋上））／ピロティ／ブリーズ・ソレイユ（日除け）／モデュロール／ブルータリズム／吉阪隆正、等の関連項目についての概説・論述．

3
吉田鉄郎／逓信省営繕課／ファサードにおける柱の表現／木割の美学／伝統とモダニズム／日本初の地下車両（トロッコ）の設置／ブルーノ・タウト／山田守（東京中央電信局）／大阪中央郵便局、等の関連項目についての概説・論述．

B
1
クラスルーム（普通科目）と特別教室（実験・実習）／小学校の高学年・中学校・高校に適する／学級の一体感や落ち着きの醸成／総合教室型と比べて実験・実習が充実／チームティーチングや選択制などへの対応が容易、等の関連項目についての概説・論述．

2
民間資金の利用によって公共施設の整備や公共サービスの提供を図る行政改革手法／市場原理の導入によるコスト削減／事業リスクの民間への移譲／官のリスクコスト削減／民間の利益向上／PFI 法（「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」）（1999 年 7 月公布）／官民間のリスク分担・官民の癒着等の問題点、等の関連項目についての概説・論述.

3
園城寺の子院／桃山時代の武家の住宅形式／主殿（応接・仏事・寝室の一体化）／匠明（平内家の秘伝書）における「主殿の図」／庭に面して広縁・入側・中門廊／上座に床・棚・帳台構／上段に床・書院／座敷飾り／寝殿造の簡略化（車寄せ部の妻戸・連子窓・唐破風・中門廊）、等の関連項目についての概説・論述.

4
現代装飾美術・産業美術国際博覧会（アール・デコ展）（1925 年、パリ）／幾何形態をもとにした記号的表現（流線形・ジグザグ形）／機械のイメージ／古代エジプトや東洋美術からの影響／モダン・デザインのファッション化／ルネ・ラリック／クライスラー・ビルディング／エンパイア・ステート・ビルディング／ロックフェラーセンター／東京都庭園美術館（旧・朝香宮邸）、等の関連項目についての概説・論述.

5
地区の整備・保全／地区の実情に合ったよりきめ細かい規制／既指定の用途地域の規制を強化／地区計画の方針と地区整備計画、等の関連項目についての概説・論述.

6
第 1 次世界大戦後の急速な経済発展による市街地の拡大や産業の興隆／1919 年に制定・公布／都市計画法／都市計画区域・地域地区制・土地区画整理事業・建築線の指定等の制度の導入／適用都市は大臣の指定により拡大可能／すべての「市」への適用、等の関連項目についての概説・論述.

7
防火性能を高め直接地上に通じている直通階段／地震や火災などの災害時対応／建築物の 5 階以上の階または地下 2 階以下の階に設置（緩和措置あり）／建築基準法上は屋内避難階段・屋外避難階段・特別避難階段の 3 種、等の関連項目についての概説・論述.

2－2 環境・設備系列の問題

A
1
・日射吸収率を高め，夏季の冷房負荷低減を図る.
・吸収された日射熱は，主に屋外へ熱が運ばれ，室内に入る日射熱が少なくなる.
・鉄分やコバルト等を添加したガラス.
・冬季の断熱効果は期待できない.

2
・音源から距離が離れると音圧レベル(音の強さのレベル)が小さくなる.
・距離が 2 倍になると 3dB ずつ音圧レベル(音の強さのレベル)が小さくなる（あるいは距離に反比例するでも可）.

3
・快適指標
・気温，相対湿度，気流の３要素が影響する．
・空気調和時の評価に用いられる．
・ヤグローとホフトンによって提案された．

4
・低音域よりも高音域の吸音率が高い．

5
・個人の好みに対応した温熱環境・空気環境をつくり出せること．
・容易に設定変更や運転・操作ができること．
・残業や休日出勤など個人の利用に対応できること．
・什器のレイアウト変更やOA機器の増設などに容易に対処できること．

6
・中央暖房方式で，室内に放熱器を設置し，これに蒸気や温水などの熱媒を送って，室内空気を直接温める方式．

7
・グリーストラップとも呼ばれる．
・調理場からの排水中に含まれる油脂類を阻止・分離・収集する．
・排水管に中に油脂分が流入して，管が閉塞することを防止する．

8
・消火剤として水を使用．
・人がノズルを手に持ち，火点に向けて注水する．
・手動式・移動式の消火設備．
・電気設備および水と反応する危険物を除く，一般火災に適応．
・火災の初期段階で使用される．

B
流量：0.16 m^3/s
流速：8 m/s

C
・騒音レベルとはA特性音圧レベルのことである．
・エネルギー的な時間平均で算出する．
・騒音の評価量として環境基準で用いられている．

２－３　構造・材料施工系列の問題
A
I
地盤の支持力特性を調べるための現場試験で，63.5kgのハンマーを76cm落下させてサンプラーを30cm打ち込む際の打撃回数N値を求める．N値は土の密度や硬さの指標となり，基礎設計に用いられる．

2
コンクリートに所要の流動性を与えるために用いる混和剤で，同一スランプを得るのに必要な水量を減少させる．水セメント比を低下させ，強度・耐久性・密実性を向上させる効果がある．高性能減水剤は流動化剤とも呼ばれる．

3
鉄骨柱梁接合部の溶接部において，ルート部に溶け残りが生じないようにするため，ガセットプレート端部に設ける三日月状の切欠き．応力集中を避けるため形状や寸法は施工指針で規定されている．

4
スラブは水平面内で大きな剛性を持ち，各柱・梁を連結して地震や風荷重に対する水平変形を抑える役割を果たす．この作用により，建物は立体的に挙動し，水平力が各耐震要素へ適切に分担される．

B
1　$\delta_B = P\ell^3 / 4EI$

2　$\theta_B = P\ell^2 / 12EI$

3　$\theta_C = P\ell^2 / 24EI$

4　$\delta_D = 7P\ell^3 / 24EI$

5　$\delta_B : \delta_F = 1 : 1$

[問題－３]
・卒業研究・卒業論文で取り組んだ（取り組んでいる）テーマについて主旨と成果（期待される成果）が簡潔・明瞭に説明されているかを評価
・大学院で取り組もうと考えている研究テーマについて
■ 背景
■ 意義・目的
■ 研究方法
などが論理立てて説明されているかを評価

令和８年度
日本大学大学院 理工学研究科
出題意図

種別	博士前期課程入学試験（一般第３期）
専攻	建築学専攻

[問題－１]
建築学の「計画・法規・歴史」,「構造・材料施工」,「環境・設備」に関する基礎的な専門用語の知識を評価する.

[問題－２]
２－１ 設計・計画系列の問題
A
著名な建築作品の建築的特徴・建築家・時代背景等についての概説・論述を求め，当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
建築計画・建築史・都市計画・建築法規の各分野における専門用語についての概説・論述を求め，当該分野における理解度を評価する.

２－２ 環境・設備系列の問題
A
環境・設備系列の専門用語に対する理解度を測り，当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
配管系の基礎理論に関する知識を評価する.

C
騒音の評価に関する知識を評価する.

２－３ 構造・材料施工系列の問題
A
構造・材料施工系列の専門用語に対する理解度を測り，当該分野の基礎的な知識を評価する.

B
構造計算に関する基礎的な知識および計算能力を評価する．本問では，水平剛性の異なるラーメン架構において，柱・梁に生じる曲げモーメントおよび層せん断力の発生メカニズムを理解しているかを問う．加えて，曲げモーメントと層間変位，柱梁接合部の回転角との力学的関係を正しく把握し，これらを理論に基づいて算定できるかを評価する.

[問題－３]
卒業研究・卒業論文などで取り組んだ（取り組んでいる）テーマについて，その主旨

と成果を明瞭に述べ，さらに大学院で取り組もうと考えている研究テーマについて，背景，意義・目的，研究方法などを論理立てて述べることができるかを評価する．